

主催：(一財)岡山セラミックス技術振興財団

共催：日本セラミックス協会中国四国支部、耐火物技術協会中国四国支部、東京光電子工業株式会社
ネッチ・ジャパン株式会社、日本テクノプラス株式会社 株式会社日立ハイテクノロジーズ
日進機械株式会社

第2回

高温下でのセラミックス測定技術セミナー

製造プロセス研究会の一環として、各装置メーカーの御協力により、高温下でのセラミックスの測定技術に関する最新情報を提供するセミナーを次のとおり開催しますので、関係各位多数の御参加をお願いします。

日時

平成29年10月27日(金) 12:55~17:10

会場

岡山セラミックスセンター セミナー室
(備前市西片上 1406 番地 18)

定員

50名

受講料

無料

申込方法

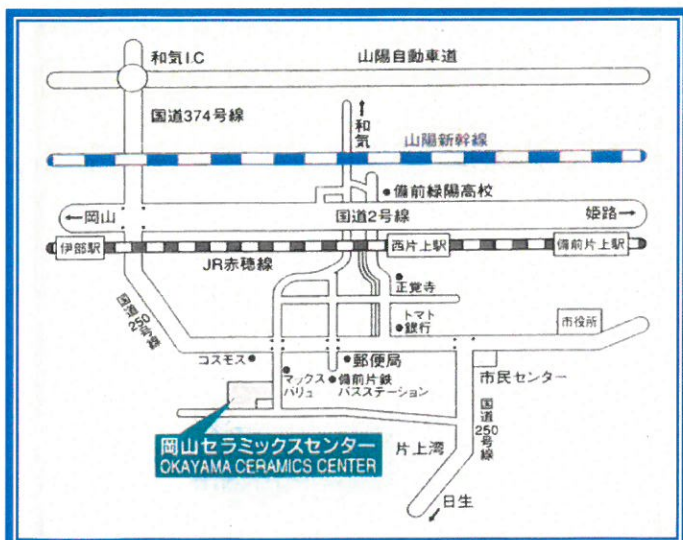
別紙お申込書に必要事項をご記入の上、FAXかメールにてご送信ください。
(一財)岡山セラミックス技術振興財団 担当：川端(かわばた)
TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227
Email: erazoku@optic.or.jp

申込〆切

平成29年10月20日(金)

アクセス

JR岡山駅から 約30km JR赤穂線で45分 西片上駅下車徒歩約8分
車で約1時間 駐車場 70台まで駐車可能



プログラム

時 間	項目／概要
12:55-13:00	開会あいさつ 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 理事長 吉鷹 啓
13:00-14:00	「高温下でのレーザ投影式測長装置の特徴」 東京光電子工業株式会社 代表取締役 さか 坂 た 田 よし 良 あき 明 日進機械株式会社 専務取締役 み 三 たに 谷 よし 教 ひと 仁
	【概要】 レーザ投影式測長装置やレーザ式熱膨張測定装置のセンサ部（レーザマイクロゲージ）を中心に高温下で高精度に測定する技術について紹介する
14:00-14:05	休憩
14:05-15:05	「耐火物の熱物性評価・クリープ測定および熱間破壊強度試験における最近の動向」 ネッチ・ジャパン 株式会社 アプリケーショングループ マネージャー つか 塚 もと もと おさむ おさむ 修
	【概要】 不均一な組成を持つ耐火物の熱物性評価では、試料の不均一組成により特殊な試験方法が確立されています。本講義では、耐火材負荷試験機(RUL)や圧縮クリープ試験、熱間破壊強度(HMOR)といった強度試験の最近の動向を紹介いたします。また、均一組成試料に対するフラッシュ法による熱拡散率・熱伝導率評価の試みも紹介いたします。
15:05-16:05	「高温弾性率と内部摩擦測定の現状と今後の動向」 日本テクノプラス株式会社 代表取締役兼技術開発 こ 児 だま 玉 いさお いさお 功
	【概要】 弾性率測定には、材料試験機などによる静的方法と原子の振動を利用する音速測定法、固有振動法などによる動的測定法があります。各測定法の特徴を説明し、共振法を中心にして高温測定における現状と問題点・今後の方向についてお話しします。弾性率とともに弾性定数(弾性スティフネス)の測定や内部摩擦でどのようなことができるか、今後どのような方向にいくのか、などについても各種の装置の特徴も踏まえながら説明します。
16:05-16:10	休憩
16:10-17:10	「電子顕微鏡による組織観察手法の拡張」 株式会社日立ハイテクノロジーズ 科学システム営業本部 マーケティング部 部長代理 たち 立 はな 花 しげ 繁 あき 明
	【概要】 諸材料において試料を加熱しながら微細構造や挙動の変化をその場で観察することへの要望が高まっている。本講義では、SEMでの加熱観察やその他のその場観察事例を紹介いたします。
17:10	閉会

10月20日(金) 〆切 川端 行

FAX0869-63-0227

erazoku@optic.or.jp

第2回 高温下でのセラミックス測定技術セミナー 参加申込書

平成 年 月 日

(一財)岡山セラミックス技術振興財団 御中

〒
住 所

会社名

申込者氏名

TEL
E-mail

FAX

以下のとおり参加申し込みます。

参加者氏名

氏 名	所属、役職	備考

講義の中でお聞きになりたいこと、質問事項などを講師へ事前に伝達いたします。

質問したい企業名	質問事項